佐多直忠氏住宅（さたなおただしじゅうたく） 附（つけたり） 腕木門（うでぎもん） 目隠し（めかく）（屏風岩（びょうぶいわ））

【所　　在　　地】南九州市知覧町郡6109
【種　　　　別】県指定有形文化財（建造物）
【指定年月日】平成２０年４月２２日

19世紀初期建立と考えられる武家住宅。玄関は一つで，入るとげんかんの間，左に折れて次の間，その奥に座敷という間取りである。建物配置と間取りが知覧麓武家住宅の基本形式の一つを示す。

腕木門は棟が高く軒が深い。目隠しは門を入るとあり，切石の頑丈な造りである。どちらも地区を代表する優れた姿形である。